

## 「当院の AYA 世代乳がん患者への支援に関する検討」

【はじめに】AYA 世代 (Adolescent & young adult) がん患者ケア推進の目的で当院では、AYA サポートチームが 2021 年 9 月に発足された。AYA サポートチームメンバーは、医師、看護師、臨床心理士、薬剤師、栄養士、ケースワーカー、作業療法士のスタッフで構成される。チームメンバーが患者情報を一覧表で共有できるシステムとして AYA サポートチーム登録を開始した。本システムの活用がよりよい支援につながるよう検討する必要があると感じた。【目的】AYA 世代乳がん患者に対して AYA サポートチームが介入した支援内容を検討することで、必要な患者支援を明らかにする。【方法】2021 年 10 月 1 日～2023 年 10 月 31 日の期間に AYA サポートチーム登録された乳がん患者を抽出し、カルテから対象者の概要を示し、AYA サポートチームが行なった患者支援の内容分析を行う。【結果】期間中の AYA サポートチーム登録は 38 名あり、そのうち乳がん患者は 10 名であった。支援内容は、治療の副作用、遺伝の項目は 9 名、意思決定支援、アピランスの項目は 8 名、相談環境、気持ちのつらさ、仕事・就労、経済面（制度）の項目は 7 名、妊孕性の項目は 6 名であった。育児・家事、将来の不安の項目は 5 名、性の項目は 4 名、チャイルドサポートは 3 名、家族調整、療養調整の項目は 2 名であった。乳がん患者は全員 30 歳代であり、就学支援はなかった。また栄養・食事、体力・運動の項目もなかった。一方で、同期間に AYA サポートチームに登録されていない乳がん患者は 2 名あった。【倫理的配慮】所属施設の臨床研究審査委員会の承認を得た。【考察】AYA 世代乳がん患者への支援は治療に関連した項目で介入の多いことが分かった。患者のニーズにあった支援ができているか評価する必要がある、まずは患者のニーズを把握していきたい。また AYA サポートチームに登録されていない患者もあるため登録方法を検討する必要がある。【結語】今後も多職種における情報共有のツールとして AYA サポートチーム登録を活用し、AYA 世代乳がん患者へのよりよい支援につなげていきたい。